

平成29年度 現代文B

教科(科目)	国語(現代文B)	学科(コース)・学年	全学科・2学年
使用教科書	新編 現代文B(東京書籍)		
副教材等	高校漢字必携(第一学習社)		
履修単位(時間)	2単位(70時間)	履修条件	必修

1. 学習目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することにより人生を豊かにする態度を育てる。

2. 指導の重点

- ・様々な文章を読み、構成・展開・要旨などを的確にとらえられるようにする。
- ・漢字テストの実施やプリント学習を通して、漢字の読み書き・語句の意味などに対する理解を深め、語彙力を向上させる。

3. 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動(評価方法)
1学期	I部 1 随想：いのちと自然 ・「さくらさくらさくら」 2 小説1：つながる心 ・「ナイン」 ・「みどりのゆび」 3 評論1：考える手がかり ・「科学的であるために」 ・「『ふしぎ』ということ」	・筆者のものの見方・感じ方・考え方を つかむ。 ・語句の意味、用法を的確に理解し、語 彙を豊かにする。 ・和歌を織りまぜた独特の表現を味わ い、随筆の面白さや魅力に気づく。 ・場面の展開や登場人物の性格、心理描 写などの確に読み取る。 ・登場人物の思考や行動を通して、人間 のあり方、生き方についての考えを深 める。 ・評論文の構成・展開などを的確にとら え、筆者の主張を理解する。 ・評論文に使われる特殊な用語、難解な 表現を理解する。 ・「科学的」であるためにとるべき姿勢 についての理解を深める。 ・自然化学万能の時代における筆者の批 判的な考え方を理解する。	・定期テスト ・ノート・プリントの確 認 ・授業の取り組みの観察
2学期	4 詩歌：イメージの世界 ・「一つのメルヘン」 ・「I was born」 ・「信濃路」(短歌) 5 小説2：物語の中へ ・「山椒魚」	・作品に託されたイメージを通して情 景、作者の心情などを理解する。 ・リズムや表現の特色についての理解を 深める。 ・体言止め、句切れ、倒置法などの修辞 技巧を理解する。 ・情景描写や心理描写における作者の表 現方法に着目し、その効果を理解する。 ・登場人物の思考や行動を通して、人間	・定期テスト ・ノート・プリントの確 認 ・授業の取り組みの観察

	<p>6 評論 2：言葉と思考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「言葉と世界」 ・「『安心』について」 	<p>のあり方、生き方についての考えを深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に込められている寓意を理解する。 ・評論文の構成・展開などを的確にとらえ、筆者の主張を理解する。 ・評論文に使われる特殊な用語、難解な表現を理解する。 ・筆者による「安心」の定義づけがどのようなになされているか読み取り、使用する人間によって言葉の意味が異なる可能性があることに気付く。 ・「言葉」が「世界認識の仕方」に影響を与えていること認識し、改めて「言葉」というものに対する理解を深める。 	
3 学期	<p>7 小説 3：こころの奥へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こころ」 <p>8 読書と人生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「塩一トンの読書」 ・「楽しく働くこと、楽しく働くこと」 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の展開や登場人物の性格、心理描写などの確に読み取る。 ・登場人物の思考や行動を通して、人間のあり方、生き方についての考えを深める。 ・明治時代の風俗を示す語句の意味や用法を的確に理解する。 ・筆者のものの見方・感じ方・考え方をつかむ。 ・「読書」に関する文章を読んで、「読書」が生きていく上で果たす役割を理解する。 ・「『労働』に関する本」の紹介文、関連資料の読解を通して、「労働」に関する理解を深め、自らの視野を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・ノート・プリントの確認 ・授業の取り組みの観察

4. 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
<p>国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。</p>	<p>目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。</p>	<p>必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。</p>	<p>近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。</p>	<p>言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。</p>

具体的な評価の対象

- ・定期テスト
- ・単元ごとの小テスト
- ・提出物
- ・授業での取り組み

5. その他（留意すべき点・担当者からの一言）

学習状況に応じて、新たな教材を取り入れるなど授業内容に変更が生じる場合もあります。授業ではできるだけ多くの文章を扱う予定です。